

## 令和5年度集団検診

保健センターや各中学校地区公民館で行う集団検診の申し込みを受け付けています。詳しい日程や検診項目、検診料については、各家庭に配布している「令和5年度健康診査・各種がん検診のご案内」またはホームページをご覧ください。

種類／総合健診、子宮頸がん・乳がん検診、腹部超音波検診

申込方法／専用の申込はがき(切手不要)に必要な事項を記入し郵送、またはホームページから

申込締切／5月9日(火)(消印有効)

専用はがき配布場所／

土浦市保健センター、市役所(市民課・1階総合案内前コンシェルジュ)、各支所・出張所、各中学校地区公民館



## ウォーキング大会

日時／5月20日(土) 午前10時～正午  
(受け付けは午前9時30分から) ※雨天中止

集合場所／霞ヶ浦文化体育会館(水郷体育館)

コース／山と湖を望む台地コース(約5km)

定員／30人(定員を超えた場合は抽選)

持ち物／飲み物、健康保険証、帽子

申込方法／電話で

申込期間／5月1日(月)～11日(木)

※元気アップ!りいばらきポイント対象事業です。

## 5月の献血

日時／5月13日(土)

10:15～11:45、13:00～16:00

場所／イオンモール土浦(花火ひろば北入口)

## 健康教室

## 前立腺がんについて

土浦市医師会  
森 優(土浦ベリルクリニック)

前立腺がんは年々増加傾向にあり、男性がかかるがんとしては、胃がん・肺がん・大腸がんを抑えて1位となっています。50歳を過ぎると増え始め、60歳代で急激に増加し、80歳以上では半数の方に潜在性の前立腺がんがあるとわれています。しかし、男性のがんの部位別死亡数では、前立腺がんは6位となっていて、早期発見ができれば、命を落とすことが少なくなっています。

前立腺がんの早期発見には、PSAという腫瘍マーカーが必要不可欠です。実際に、検診や人間ドックなどで行ったPSA検査をきっかけとして見つかる場合が多く見られます。

前立腺がんは、病勢がかなり進行しない限りは無症状です。尿の勢いが悪い、頻尿、残尿感などの排尿障害などの症状があつて受診した際に、PSA検査やエコー検査で見つかる場合もあります。がんが進行してくると、血尿や、骨転移にともなう腰痛、圧迫骨折などで見つかる場合もあります。

以前は、欧米人に多く、日本人には少ないがんとい

われていたため、欧米型の食生活(高脂肪食、乳製品など)の普及が原因になっているとの説もありますが、明確にはなっていません。また、家族性の発症傾向は指摘されていて、父親あるいは兄弟が前立腺がんであると、前立腺がんになる危険性は高まります。

治療方法としては、内分泌治療や手術治療、放射線治療などがあります。例外もありますが、前立腺がんは男性ホルモンを栄養源にして成長していくので、男性ホルモンの分泌を抑える注射や飲み薬で進行を抑えます。また、手術療法は、以前は出血量が多いことや、術後の尿失禁が問題となることがありましたが、近年ではロボット手術の普及で、これらの問題点はかなり改善しています。放射線治療に関しても、機器の進歩により周囲臓器の被曝は最小限となっていて、副作用の頻度も改善しています。ほかにも陽子線治療や凍結療法などもあり、早期であれば治療の選択肢は広がります。

前立腺がんは早期発見がとても重要です。50歳を過ぎたら、PSA検査の受診をおすすめします。

## 広告